



# 森ボラ 通信

第181号 2017年6月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## トピックス

### ◆澄川環境林—春の清掃活動—

5月31日毎年恒例の清掃活動を行いました。例年そうなんですがこの日は朝から少し重い気持ちを引きずりながら澄川へ。今年も心無い輩達がポイした生活廃棄物や業者が意図的に破棄した粗大ゴミを拾い集める事への抵抗感を感じない訳には行きません。が、そうは云っても誰かがやらないと綺麗な環境は守ること出来ないと言い聞かせ19人の会員は北と南に別れ道路沿いと崖下に転がり落ちたゴミを1時間半程で拾い集めました。今回も豊平清掃事務所の皆さんにお世話になりました。回収されたゴミはタイヤ40本、ビデオデッキ1台、PCモニター2台、TV3台、電子レンジ1台、ストーブ1台、バッテリー2台、その他ざっぱ類はボランティア袋約90袋780kgと連絡を受けました。今年も札幌市みどりの管理課でポイ捨て禁止の旗や看板を新しい物に取り換えて頂いたお蔭でしょうか！！例年に比べゴミの量は減った様だと会員から聞かれました。今回新たに大量に捨てられた場所が見つかりましたので札幌市に報告して旗や看板の設置をお願いしました。(文・事務局)



今回、北海道大学文学部の3年生が森林ボランティアの活動に付いての調査研究で環境林を訪れましたので一緒に清掃活動に参加して貰いました。その感想文が届きましたので紹介します。

「去る5月31日、大学の調査研究のため、北海道森林ボランティア協会さんの活動に参加させていただきました。突然お邪魔したにも関わらず、団体のみなさんは温かく受け入れてくださり、とても感謝しております。

その日の活動内容は、森林に捨てられたゴミの清掃でした。私が想像していたよりも多くのゴミが森に捨てられていました。なかには車のタイヤや炊飯器などの家電も捨てられており、非常に驚いたとともに、使わなくなったものを森に捨てるという考え方を持っている人がいることに悲しみを覚えました。

日常生活を送る一般の人々にとって森は遠い存在なのかもしれません。しかし、森は貴重な資源であり、私たちの生活を支えるさまざまな機能を果たしています。そのような森の重要性と、その森を守る活動をしている人々がいるのだということを、もっと多くの人に知ってほしいと思いました。」(文・小島)

### ◆ローソン澄川環境林で植樹会開催

5月20日(土)晴天の中自然体験学習が開催されました。日頃から環境保全活動に取り組まれているローソンの皆様方42名が参加しました。この様な大勢の方が澄川環境林に集まったのは10周年記念のイベント以来のことで感謝の気持ちでいっぱいです。



開催に当たり札幌南1条東6丁目店の鎌田オーナー様からは「ローソン緑の募金」を活用しての体験型の緑化支援活動は道内では90回目です。その内この環境林での活動が6回目となります。皆さんとの作業を通してお役に立てます事は私どもの喜びですとご挨拶がありました。

午前中はニセアカシアの間伐後のギャップ地にアカエゾマツと郷土樹種のみずなラ、イタヤカエデなどを100本植栽しました。又ニセアカシアの巻枯らし群を見て貰い、和田さんからの説明でその効用を理解して頂きました。

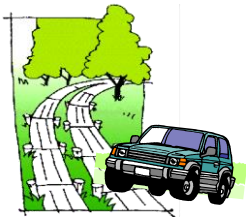
酒井代表からはこの森がローソンの助成を受けて開発された成果の報告と感謝を示されました。お昼は湯澤シェフのナメコと豆腐の味噌汁が振舞われ春を満喫しました。

今回は新しい試みとして女性群に山で採った蔓を使ってリース作り、男性群は間伐材の切れ端を使ってホルダーを作って貰いました。サポート本部からのご支援を頂きました吉江様、札幌で色々と指揮を執って頂いた青木様、姉崎様に感謝申し上げます。(文・事務局)



## ■ 活動報告

### ◆ ボランティアに参加して



昭和16年10月27日生まれ今年76歳に成ります。柿沼と申します。

平成27年春一度「斎藤リンゴ園」が花咲くころ、お手伝いに2、3度お邪魔し「和田さん」にいろいろご指導いただきました、のがご縁の始まり、今年29年1月から正式に入会させていただき、今日に成っております。

昭和50年8月札幌支店に私の担当部門が開設され、ワイフ共々北海道の住民に成り現在に至っております。東京在住時から趣味として狩猟を楽しんでおりました、平成26年射撃練習中右耳の脳細胞(声を感知する細胞アンテナ)が爆音で破壊され「難聴に成り」52年間楽しんだ狩猟を断念し雪深く退屈な冬をどう過ごすか「雪山が恋しい」な、退屈して居る時期「市山さんから」孤独老人・孤独死防止、特にゴルフで飛距離が30ヤード伸びる「この一言の殺し文句」森林ボランティアに参加させていただき事になりました。

雪山で獲物を探し歩く事は手慣れたものですが、「木こり作業をする」は初めての経験「服装・手持ち工具・作業工具・操作方法等」特に最大の難関は「諸先輩方の名前と顔を覚える」老化現象改めて自認させられています(現在進行形)。

工具・操作方法・諸先輩方の名前と顔の一致、日々「ものおぼえ隊」努力中、間違っ「お呼びすることあると思います」本人真剣です只今学習中早く覚えますのでしばしご容赦いただきたくお願い申し上げます。

春「山わらう」(^.^)5月初め「澄川作業所内湿地帯水芭蕉真つ盛り」マガモの夫婦が仲良く「巢作り」1ヶ月もすれば子ガモを引き連れ御目文字楽しみです。今後共ご迷惑をお掛けしなうよう日々努力いたします御指導宜しくお願い致します。(文・柿沼)

### ◆手稲さと川探検隊活動報告

3月15日のセミナー例会はエルプラザにおいて23名の参加により、手稲さと川探検隊代表鈴木玲氏の活動報告に耳を傾けました。この会は2004年鈴木氏の個人的な体験を基礎に設立されました。



豊かな自然の中に身を置いて五感を使い風の音を聞き、川の流りに身をまかせ雪の冷たさを知り様々な自然体験による心の再生を願うものでした。

探検隊の活動は子供たちの川遊びからのスタートです。企業の社会貢献事業との共催の形で助成を受け、手稲山から流れ出る星置川、中の川、富岡丸山都市環境林などをフィールドに四季に合わせた行事を企画しています。早春のカエルの卵探しやバードウォッチング、暑い夏の川遊びを兼ねた水性生物の捕獲と観察や道内では珍しい夜のコウモリ探し、秋はヒグマの生態学習、冬は雪遊びに樹液採りなど子供たちの歓声が聞こえそうです。危険と背中合わせて感覚を研ぎ澄まし全身を使って自然との格闘です。

毎回テーマを作り講師を招き充実した活動内容はさと川探検隊新聞となりHPで公開されています。子供時代の自然体験が人格の形成に重要です。鈴木代表の話聞きすぐ森しり隊を思い浮かべその活動の違いに驚きです。

子供たちの自由な川遊びが中心でそこから自然学習の始まりですが、森しり隊が目指す森作り、自然の恩恵、森林産業等についての活動は少ないようです。生活に密着した地味な森林学習が浮きぼりにされた思いです。(文・加藤)



## ◆ 刈払機取扱安全講習

5月26日(金) 澄川環境林において、会員を対象に刈払機取扱安全講習を行いました。参加者は17名、朝礼、体操、座学、植栽地実習と行い昼食後は笹地実習そしてメンテナンス講習と3時間を超える内容でした。講師役の酒井代表は機器の取り扱いから現地実習まで、要所要所のポイントでは詳細に説明していただきました。

受講者は初心者から熟練者まででしたが、基本に立ち戻り最後まで熱心に受講しました。「林業労働安全衛生推進テキスト」、「刈払機安全作業ガイド」を参考にした安全講習の要点をまとめます。



①刈払機作業の災害分析では、転倒とキックバックで全体の88%を占める。②刈払い機のタイプ別被災数では、当会が所有している両手ハンドル、トリガー式が少ない。③装備では肩掛けベルトを用い、ヘルメットの他防護メガネ、顔面保護ネットの他に飛散防止カバーが有効。④事故率の高いキックバック(切断対象物に回転する刃物が当たった時、跳ね返される現象)はいつでも起こり得るので機械のホールド、姿勢、構えをしっかりとる。⑤斜面上の作業では、上方から下方へは足が滑りやすく刃物が直接当たる可能背が高いので禁止。⑥作業者間の限界距離を6.0m、安全距離はその2,3倍として12m~18mが目安。⑦丸ノコは当会では刃先に超硬チップを取り付けたチップソーを使用している。今後は作業道路際等を対象にナイロン製の使用も検討。⑧刈幅は最大1.8m程度となるが余裕をもって1.0~1.2m程度の幅で作業。⑨操作時の足の位置は、右足を若干前に出します。作業姿勢は右腰骨が前へ前へ出るように右足から進め、左足がそれについていく感じ。⑩灌木を切る場合は機械の80%程度の出力で、余裕をもって切れる径を知っておくことが大切。木の硬さが樹種によって異なるが5cm程度まで。

以上が講習会の要点ですが、実際の現場で経験を積み重ねることが重要です。当会では今まで刈払機の事故は発生していません。今後も装備、心構えをしっかりと準備して、余裕をもって楽しく活動しましょう。(文・樞棒)

## ■今月の幹事会

出席者：市山、大窪・荻田・樞棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野・和田

1. 2017年7月、8月スケジュール・・・幹事会7月7日（金）
2. 第3回親子森林教室・・・2017年森しり隊だよりV01.1 発送  
第3回のシミュレーション6/16日実施（市山、酒井、佐野、荒舩）
3. 2017年度森林・山林多面的發揮機能対策進行状況・・・苫小牧胆振森林管理室と和ごみの森でモニタリング説明会および現場研修(6/12)（出席者：樞棒、市山）
4. 札幌大学現地調査（5/11）及び学校林アンケート調査結果・・・再度学校側と対応を進めて行く
5. 烏柵舞調査結果・・・活着調査、施肥試験、菌根菌土壌試験、シラカンバ間引き施業
6. 札幌市環境部共生課 青少年科学館 守屋開氏への対応・・・佐野、市山、和田で面談（6/15）
7. 活動報告  
6/7・8 水明郷・・・下草刈り、広葉樹列の補植  
6/22・23 烏柵舞・・・下草刈り
8. 委員会報  
広報委員会・・・固定電話料金、PC保守料金の経費節減  
助成委員会・・・日本フィランソロピー寄付の件申請済（かんぼ生命）子どもゆめ基金決定額通知  
研修旅行の準備状況・・・調整中
9. その他
  - ・ 澄川不法投棄に対するみどりの管理課の対応・・・不法投棄防止の旗と看板設置
  - ・ 木の里親に寄付金・・・秋の植栽活動に活用
  - ・ 高額品購入・・・ポータブル発電機、キャプスタンロープウィンチ
  - ・ 2017年5月会計報告



## ■活動履歴

月 日	行事・活動地	参加数	活動内容
5月18日（水）	有明	13	危険木・倒木処理、活着調査
5月20日（土）	澄川	16	ローソン自然体験学習（42名）、E-2に100本植栽
5月23・24日	CGC 烏柵舞の森	17/17	アカエゾマツ移植（14本）活着調査・シラカンバ間引施業
5月26日（金）	澄川	18	刈払機取り扱い安全講習（講師酒井、座学&実習）
5月31日（水）	澄川	18	春の清掃活動、北大生ボランティア活動調査
6月2日（金）	ラルズビル	12	幹事会
6月3日（土）	澄川	8	森しり隊植菌ホダ木移動、シードトラップ設置
6月5日（月）	澄川	14	サンショウウオ生息調査、クズ退治
6月7・8日	CGC 水明郷の森	14/14	下草刈り、アカエゾマツ&広葉樹各50本補植（No8）
6月13日（火）	澄川	11	澄南小マイツリー場所の選定、カワニナ生息調査
6月14日（水）	有明	12	多面対策事業モニタリング用標準地選定、下草刈り
6月16日（金）	澄川	15	E-3の薪材を管理地に移送、親子シミュレーション